

授業計画（シラバス）

<p>■科 目 日本語表現法 I</p>	<p>■講師名 佐藤 潤子</p>
<p>I 部 1 学年 通年 8 コマ（1 コマ 90 分授業） 総時間 15 時間 講義 1 単位</p>	
<p>■学修概要</p> <p>臨床の場で必要とされる基本的な文書の構成や作法を学ぶ。事実、引用、意見、根拠などを盛り込んだまとまりある文書が書けるように学習を行う。レポートを作成するための諸要素の学習と練習を通して、主に「読む・書く」の2つの技能を向上させる。</p>	
<p>■授業目的、到達目標</p> <p>①一読しただけで、長い複雑な文章の重要事項を見定めることができる。 ②自分に関係のある文書や、専門分野の長く複雑な説明を理解できる。 ③複数の見解を相互に関連づけ、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ④論拠、論点を整然と展開して、レポートを書くことができる。</p>	
<p>■授業方法</p> <p>講義</p>	
<p>■教科書（書籍名・出版社）</p> <p>参考書：基礎からわかる日本語表現法/くろしお出版 （授業に沿って行うが、言語に不安のある学生は、授業開始までに参考書を通読するとよい。）</p>	
<p>■成績評価・講義上の注意</p> <p>出席状況や授業態度の他、以下項目による総合的な評価を行う レポート等の提出物：取り扱う主題を把握し、書かれている内容の文章表現が整っているか、わかりやすい構成になるよう工夫されているかなど。また、提出期限の厳守 グループワーク：グループの中の他者の表現方法に耳を傾け学びを得る。</p>	
<p>■実務経験</p> <p>歯科衛生士として20年以上、臨床及び教育の場で患者さんや学生の行動変容や教育に携わっている。</p>	
<p>■授業計画（講義の流れ）</p>	
1	授業の流れ、評価の方法等の説明。
2	専門用語と独特な表現方法の理解 ①
3	専門用語と独特な表現方法の理解 ②
4	敬意の表現。（尊敬語、謙譲語、丁寧語）
5	「書く力」を育む原則
6	文章の種類
7	要約、考察の書き方
8	レポート用紙、原稿用紙の書き方。